

強くなれ 中小

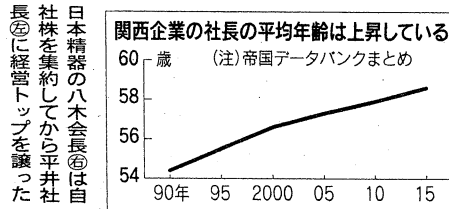
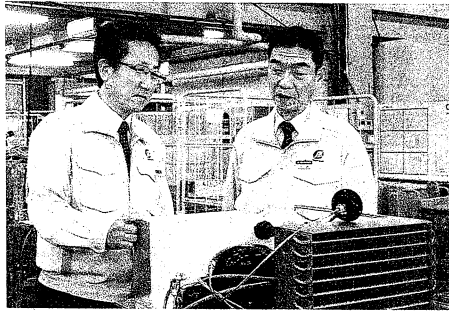
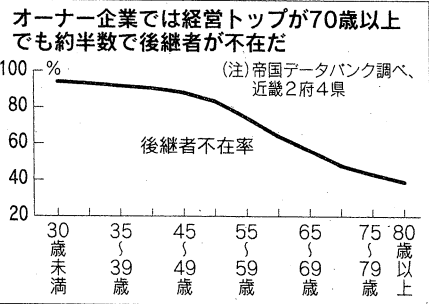
今どきの事業承継 ④

関西で中小企業の実業承継が喫緊の課題となっている。経営者の高齢化が進む一方、事業承継の取り組みが遅れており、事業所数の減少にもつながっている。そのためM&A(合併・買収)を含めた経営の円滑なバトンタッチと企業の存続が関西経済の浮沈に影響しかねない。事業承継の最前線を追った。

深刻な後継者難

全国有数の中小企業の集積地の大阪府東大阪市。微細な加工技術などで関西の製造業を支えてきたが、後継者難は深刻

創業家には頼れない



日本精器の八木会長⑧は自社株を集約してから平井社長⑨に経営トップを譲った

後継者が買収する必要がなくなるのか。「息子に継がせたり、親族に持ち株を譲ったりするつもりはない」と高橋社長。株式を親族に分散させれば経営への介入といった問題に「なかりかたない」。

坪多晶子税理士は「分散した株式を集約したいと目社長に就任した。会長に就いた八木秀治氏⑧から2人続けての非創業家出身のトップだ。比較的若い段階で交代が実現したのは自社株の集約にメドがついたことだ。株主は元従業員など120人強にまで膨らみ、顔の知らない株主が増え、中小企業投資育成の活用などで創業家や元従業員らが自社株を買い取り、過半を確保した。創業家やその一族はカリスマ性や威光が求心力を持つ。サラリーマン社長だこそうはいかない。「自社株をまとめたことで経営が安定した」。八木会長はこう説明する。

いま日本全体で課題となっているのは中小企業の生産性向上だ。そのためにまず後継者不在を解消し、ビジネスに専念する環境を整えなければならぬ。

自社株まとめ経営安定

で市の担当者は「事業所数は減り続ける」と予測する。経済産業省によると2012年の事業所数(従業員4人以上)は2780万所と1980年の半分まで落ち込んだ。「海外移転に加え、事業承継ができなかった」と説明する。

関西企業の70歳代以上(大阪府)は高橋徹社長(株)が購入。残りは普通株のまま高橋社長が持つ。

高橋社長が持つ株式を

なぜこのような仕組みに変えるのか。「息子に継がせたり、親族に持ち株を譲ったりするつもりはない」と高橋社長。株式を親族に分散させれば経営への介入といった問題に「なかりかたない」。

高橋社長が持つ株式を

高橋社長が持つ株式を

後継者が買収する必要がなくなるのか。「息子に継がせたり、親族に持ち株を譲ったりするつもりはない」と高橋社長。株式を親族に分散させれば経営への介入といった問題に「なかりかたない」。

坪多晶子税理士は「分散した株式を集約したいと目社長に就任した。会長に就いた八木秀治氏⑧から2人続けての非創業家出身のトップだ。比較的若い段階で交代が実現したのは自社株の集約にメドがついたことだ。株主は元従業員など120人強にまで膨らみ、顔の知らない株主が増え、中小企業投資育成の活用などで創業家や元従業員らが自社株を買い取り、過半を確保した。創業家やその一族はカリスマ性や威光が求心力を持つ。サラリーマン社長だこそうはいかない。「自社株をまとめたことで経営が安定した」。八木会長はこう説明する。

いま日本全体で課題となっているのは中小企業の生産性向上だ。そのためにまず後継者不在を解消し、ビジネスに専念する環境を整えなければならぬ。